

3.1.9 障害対策

ここでは、発注側 E D I サーバ管理作業での障害対策について説明します。

尚、技術サポートの詳細問い合わせ先は、E D I 取引契約時に発注会社が示す窓口、若しくは、航空機業界 E D I センターにより示される窓口となります。

- ・ 障害が発生してからの作業の流れ (1)参照
- ・ 障害状況の判別 (2)参照
- ・ 障害情報の採取 (3)参照
- ・ 障害の回復 (4)参照

(1) 障害が発生してからの作業の流れ

障害が発生してから正常に戻るまでの作業の流れを、図 3 . 1 . 9 - 1 に示す。

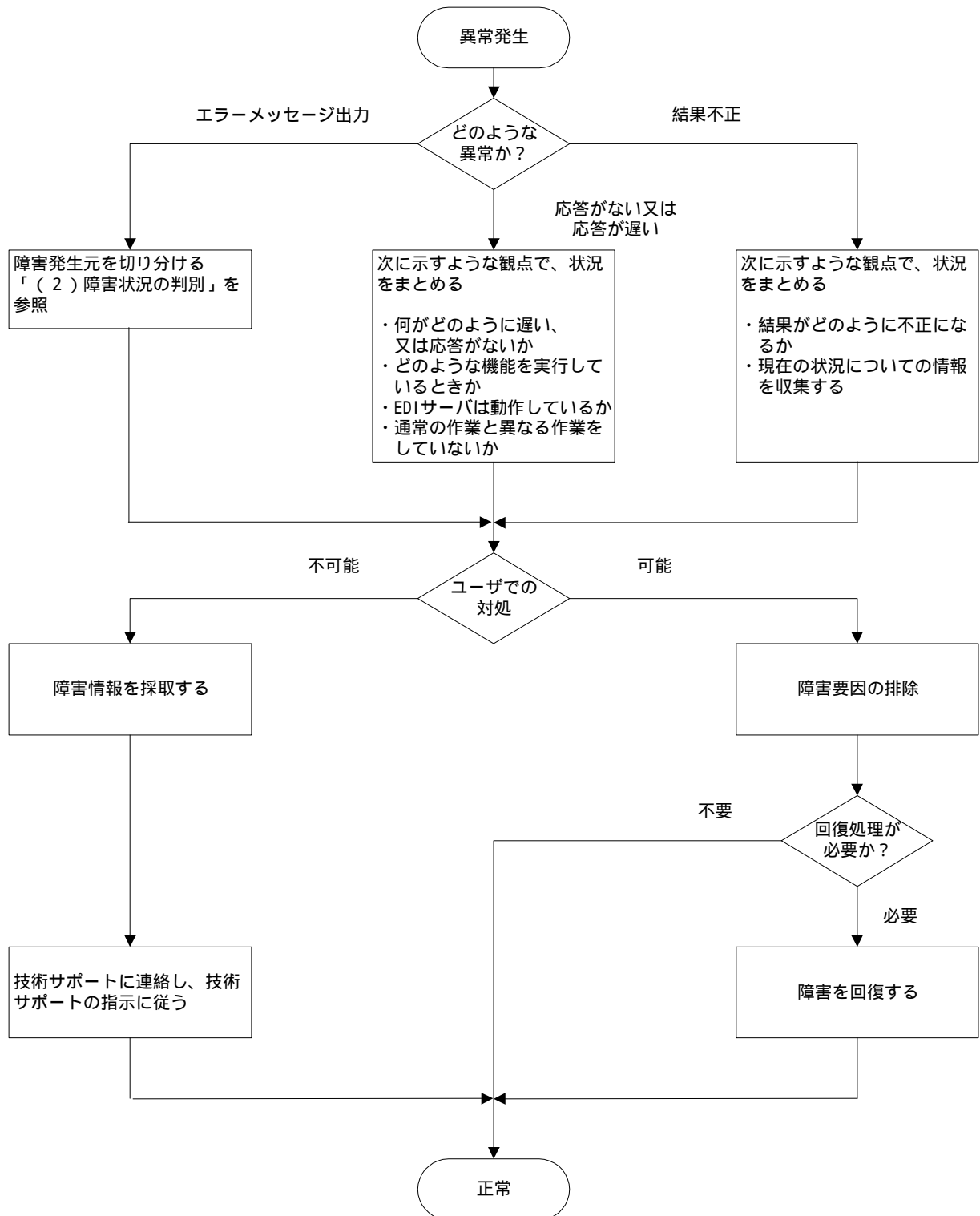


図 3 . 1 . 9 - 1 障害が発生してから正常に戻るまでの作業の流れ

(2) 障害の状況の判別

(A) 障害の確認

障害がどのような状況で発生したかを把握する為に障害発生時のメッセージを確認する。

(B) 障害の診断

(a) メッセージによる診断

障害発生状況と出力されているメッセージを確認する。

(b) 障害要因による診断

メッセージが示す障害の要因は、以下の2つに分類される。

(ア) ユーザが対処できる障害要因

環境設定や運用の誤りによるもので、ユーザが直接に要因を排除可能。

(イ) ユーザが対処できない障害要因

ユーザは障害情報を採取して、技術サポートに連絡する必要がある。

(3) 障害情報の採取

障害発生時にサポートに連絡する場合、以下の方法で障害情報を採取する。採取する障害情報を以下に示す。

(A) 操作手順

障害発生に至るまでの詳細な操作手順。(画面のハードコピー、操作内容のメモなど)

(B) メッセージ

画面上に表示されるメッセージ。

(4) 障害の回復

(A) 画面に出力されているメッセージを確認し、3 . 1 . 8 項に示す対処方法を実施する。

(B) E D I サーバを一度終了させ、再度起動する。

(C) 上記の方法でも同様な障害が発生する場合には、サポートに連絡し、サポートが指示する障害復帰作業を実施する。